

事業の概要	事務事業名	新産業創出事業				担当部	地域活性化営業部	担当課	商工振興課						
	実施計画	2	年目												
	新基本計画	市政戦略編	分野別計画編	5	産業・交流	20	商工業	2	既存商工業の経営を支援します						
	予算区分	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費	大	6	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市企業新展開支援プログラム、創業支援事業計画、小牧市中小企業次世代成長産業設備等導入補助金交付要綱、小牧市中小企業販路開拓支援補助金交付要綱、小牧市中小企業省エネルギー設備等導入補助金交付要綱、小牧市中小企業新産業技術開発支援補助金交付要綱、小牧市航空機部品製造認証取得支援補助金交付要綱 他8要綱													
	目的	何(誰)を対象に	対象:市内企業												
	目的	どの様な状態にするか	小牧市企業新展開支援プログラムに基づき各種補助制度の運用や次世代成長産業参入セミナーを開催するなど市内企業の操業支援に加え、企業の新事業展開の促進や創業者支援の取組みを推進することにより、産業振興を図る。												
	手段	どのような事業を実施するか	<p>○中小企業次世代成長産業設備等導入補助金</p> <p>・次世代成長産業分野における製品の開発、生産等を行うために新たな設備を導入する市内の中小企業者に対し補助対象経費の1/10を補助する。</p> <p>○中小企業販路開拓支援補助金</p> <p>・技術及び製品の販路を拡大し、新規需要の開拓を促進するため、展示会等に出展する事業者に対し、補助対象経費の1/2を補助する。</p> <p>○中小企業省エネルギー設備等導入補助金</p> <p>・省エネルギー診断に基づき、省エネルギー設備等を導入する市内の中小企業者に対し補助対象経費の1/2を補助する。</p> <p>○中小企業新産業技術開発支援補助金</p> <p>・新たな商品開発や産業展開の促進を図ることを目的に企業の新技術等の研究開発を支援するため、公的機関等が行う製品の品質管理、品質改善及び製品開発等に必要な依頼試験等を利用する事業者に対し、その利用に要した手数料又は、利用料の2/3を補助する。</p> <p>○航空機部品製造認証取得支援補助金</p> <p>・航空機関連企業の競争力を高めるため、JISQ9100認証及びNadcap認証を取得する事業者に対して、取得費用の1/2を補助する。</p> <p>【その他の補助内容】</p> <p>・日本貿易振興機構運営費負担金 ・中小企業経営・技術専門家派遣利用費補助金 ・中小企業人材育成研修費補助金 ・航空宇宙産業販路開拓支援補助金</p> <p>・起業・会社設立支援補助金 ・創業支援利子補給補助金 ・知的財産権取得事業費補助金 ・産学連携・企業間連携事業費補助金 ・地域産業資源活用補助金</p>												
	事業内容	事業内容													
	年度別事業内容	28年度	<p>【28年度実施内容】※主な直接経費の内訳</p> <p>○中小企業次世代成長産業設備等導入補助金 13,670千円 2件</p> <p>○中小企業販路開拓支援補助金 8,406千円 40件</p> <p>○中小企業省エネルギー設備等導入補助金 9,599千円 5件</p> <p>○中小企業新産業技術開発支援補助金 3,531千円 21件</p> <p>○航空機部品製造認証取得支援補助金 3,168千円 5件</p> <p>【28年度その他直接経費の内訳】</p> <p>・報償費(239千円) ・旅費(115千円) ・需用費(3千円) ・委託料(地域経済分析 2,381千円) ・日本貿易振興機構運営費負担金(300千円)</p> <p>・中小企業経営・技術専門家派遣利用費補助金(41千円) ・中小企業人材育成研修費補助金(1,126千円) ・航空宇宙産業販路開拓支援補助金(817千円)</p> <p>・起業・会社設立支援補助金(3,770千円) ・創業支援利子補給補助金(2,041千円) ・知的財産権取得事業費補助金(2,979千円)</p> <p>・産学連携・企業間連携事業費補助金(1,500千円) ・地域産業資源活用補助金(1,000千円)</p>												
年度別事業内容	29年度	<p>【29年度実施内容】※主な直接経費予算の内訳</p> <p>○中小企業次世代成長産業設備等導入補助金 20,000千円</p> <p>○中小企業販路開拓支援補助金 7,000千円</p> <p>○中小企業省エネルギー設備等導入補助金 10,000千円</p> <p>○中小企業新産業技術開発支援補助金 5,000千円</p> <p>○航空機部品製造認証取得支援補助金 6,000千円</p> <p>【29年度直接経費当初予算】・報償費(291千円) ・旅費(130千円) ・需用費(217千円) ・日本貿易振興機構運営費負担金(300千円)</p> <p>・中小企業経営・技術専門家派遣利用費補助金(300千円) ・中小企業人材育成研修費補助金(2,000千円) ・航空宇宙産業販路開拓支援補助金(2,000千円)</p> <p>・起業・会社設立支援補助金(4,500千円) ・創業支援利子補給補助金(2,800千円) ・知的財産権取得事業費補助金(3,000千円)</p> <p>・産学連携・企業間連携事業費補助金(1,500千円) ・地域産業資源活用補助金(1,000千円)</p>													

事業費	財源内訳 (千円)	H28		H29
		当初予算額	決算額	当初予算額
		合計		
		77,443	54,683	66,043
	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	77,443	54,683	66,043
	特定財源の説明			
事業費	事業費内訳 (千円)	H28		H29
		当初予算額	決算額	当初予算額
		細々節		
	講師謝礼	200	200	200
	中小企業次世代成長産業設備等導入補助金審査会委員謝礼	91	39	91
	普通旅費	130	114	130
	消耗品費	12	2	85
	食料費	2	1	2
	印刷製本費	130	0	130
	地域経済分析委託料	2,400	2,380	0
	使用料及び賃借料	5	4	5
	日本貿易振興機構運営費負担金	300	300	300
	中小企業次世代成長産業設備等導入補助金	30,000	13,670	20,000
	中小企業経営・技術専門家派遣利用費補助金	300	41	300
	中小企業人材育成研修費補助金	2,000	1,125	2,000
	中小企業新産業技術開発支援補助金	5,000	3,531	5,000
	航空機部品製造認証取得支援補助金	6,000	3,167	6,000
	航空宇宙産業販路開拓支援補助金	2,000	817	2,000
	起業・会社設立支援補助金	4,500	3,769	4,500
	創業支援利子補給補助金	2,800	2,041	2,800
	中小企業省エネルギー設備等導入補助金	10,000	9,598	10,000
	知的財産権取得事業費補助金	3,000	2,978	3,000
	産学連携・企業間連携事業費補助金	1,500	1,500	1,500
	地域産業資源活用補助金	1,000	1,000	1,000
	中小企業販路開拓支援補助金	6,000	8,406	7,000
従事者数	正職員(人数)	2	2	2
	その他職員(人数)	0	0	0

ステップⅠ	影響を与える展開方向の指標	単位	目指す方向性	基準値	H26	H27	H28	H29
	①	これからも小牧市で操業を続けたいと思う企業割合	%	→	94.3(26年度)		94.9	95.1
②	小牧市の産業支援策について、他市と比べ充実していると思う企業の割合	%	→	75.6(26年度)		75.7	69.6	
基本施策の展開方向の指標に対する影響(貢献等)								
H28実施結果	・小牧市企業新展開支援プログラムに基づき各種補助制度の運用や次世代成長産業参入セミナーを開催するなど、市内企業の操業支援に加え企業の新事業展開への支援などにより、市内企業の経営の安定や向上に繋がったと考える。							
ステップⅡ	事業の成果指標	単位		H26	H27	H28	H29	
	①	新産業創出事業補助件数	件	目標	—	—	—	200
				実績	40	175	187	
②	次世代成長産業参入セミナーの参加者数	人	目標	—	100	50	50	
				実績	84	26	39	
ステップⅢ	事業の活動指標	単位		H26	H27	H28	H29	
	①	企業訪問件数	件	目標	—	100	100	100
				実績	22	40	42	
②			目標					
			実績					
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因、今後の見通し								
H28実施結果	活動指標の企業訪問件数は目標を達成できなかったが微増。平成27年度に新たに創設した補助制度を加えた13制度のPRIにより平成28年度は187件の支援を実施し順調に増加している。また、次世代成長産業参入セミナー(H28テーマ 次世代自動車産業 参加者39名)を開催し産業の振興を図った。今後は、補助金の増加に加え、総合計画の改定にあわせ平成31・32年度に企業新展開支援プログラムを改定する必要から予算規模が増加すると考えられる。							
ステップⅢ	要因を踏まえた事業の見直し							
H28実施結果	新たに創設した補助金制度等、企業支援施策をより多くの市内事業所に周知するため、積極的な企業訪問による更なる訪問件数の増加が必要であることから、継続的に実施可能な体制作りへ向け改善を進める。 また、新規の補助金においても、効果の検証や新たな企業ニーズの把握を行い、必要な制度の改善を進める。							

一次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	維持	小牧市企業新展開支援プログラムに基づき各種補助制度の運用を促進し、事業規模の拡大をはかり、成長産業を中心に更なる産業振興に繋げるため。
	維持	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大するべきもの	

二次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	維持	一次評価のとおり。
	実計ヒアリング実施要否	不要	
事業の位置づけ	実施計画事業として継続		